

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月23日更新

事務事業名		統計調査資料活用分析事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	総務部	課長名	松田 勝
	施策	2	行政改革の推進			所属課	企画課	担当者名	菊永 陽
	施策の柱	5	広聴・広報機能の充実			所属班	企画広報班	(内線)	1253
予算科目	会計一般	款 2	項 5	目 1	事業連番 11058	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	各統計資料の整理と分析を行ない、ホームページ等広報媒体での公表を行なう。 事業統計資料に対する分析、活用についての需要は年々高まってきており、必要なデータを速やかに分かりやすい形で提供する必要があるため、平成18年度から本格的な事務事業として開始した。 行政からだけでなく、住民からも統計データの需要が増えてきており、必要な情報を分かりやすい形で提供するシステムの構築が必要になってきている。 平成31年3月末現在、市ホームページ上で掲載している情報は、2010農林業センサス結果(概数値) 東洋経済「住みよさランキング」「平成25年度市町村所得推計」「平成27年国勢調査人口等基本集計結果」など。 なお、統計調査資料活用分析については基幹統計調査実施事業の一環であることから、令和2年度より「基幹統計調査実施事業」と統合を行う。
【業務の流れ】	毎月末統計資料データの更新、専門文献等による学習
【主な予算費目】	予算なし
【意見や要望】	閲覧者から、常に最新のデータを提供してほしいとの要望がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	主要基幹統計調査に加え、市民や行政、民間が必要とするデータを収集し、それが活用されるための分析・整理を行ない、最新のデータを公表した。	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 主要基幹統計調査に加え、市民や行政、民間が必要とするデータを収集し、それが活用されるための分析・整理を行ない、最新のデータを公表していく。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) ア: データ作成にかかった日数 イ: データ更新回数	予算の主な増減の理由 予算計上なし
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等各種統計データ	(単位) ア: 各種統計データ数 イ: 各種統計データ数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適切に整理され、速やかに提示できる。	(単位) ア: 成果指標(意図の達成度を表す指標) イ: 成果指標(意図の達成度を表す指標)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠 市民や行政、民間が必要とするデータを収集し、最新のデータを公表していくことが目的であるため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア 日		5	0	10	1	10	10	10	10
	イ 回		10	0	12	0	12	12	12	12
	イ 件		13	0	20	0	20	20	20	20
② 対象指標	ア 件									
	イ 件									
	イ 件									
③ 成果指標	ア 件									
	イ 件									
	イ 件									
投資 入 費 量	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
正規職員従事人数	人	0	1	1	2	1	1	1	1	
延べ業務時間	時間	0	10	100	70	100	100	0	0	
(B) 人件費計	千円	0	39	398	277	398	398	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	39	398	277	398	398	0	0	

事務事業名	統計調査資料活用分析事業	所属部	総務部	所属課	企画課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 各種統計データの公表にあわせ、市ホームページ掲載の統計データを更新した。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 例年通り、各種調査の公表にあわせて市ホームページ掲載データを更新していくため。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現在、統計資料の整理が十分でない。社会情勢も踏まえつつ、住民にニーズのある情報を提供できるよう、開示する情報の種類や方法に関しても見直していかなければならない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業は無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費はないため、削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人数で、可能な限り効率的な業務を行なっている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全ての市民に公開する情報であり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が持つデータの公表であるため、役割分担は適さない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

現状では各種統計調査の公表結果をそのまま公表しているが、今後はニーズに応じデータを整理して公表できるようにする。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>現在、統計資料の整理が行き届いておらず、統計調査資料の活用が十分とは言えない状況であった。統計調査結果は、事業者による設備投資や、福祉施策や生活環境整備、防災対策など様々な施策の計画策定などに利用されることから、社会ニーズに対応した統計資料の活用方法の検討を行う。</p>																						